

公表

事業所における自己評価総括表・放課後等デイサービス

○事業所名	ゆめの園みらいず本郷児童発達支援・放課後等デイサービス		
○保護者評価実施期間	2025年12月1日		2025年12月31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	33 (回答者数)	21
○従業者評価実施期間	2026年1月10日		2026年1月20日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6 (回答者数)	6
○事業者向け自己評価表作成日	2026年1月31日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	生活空間は清潔に保たれており、利用児が心地よく、安心して過ごすことができる環境となっている。また、子どもたちの活動内容や特性に配慮した空間づくりを行っている。	汚れが目立っていた床のカーペット部分について、「赤い羽根共同募金」の助成金を活用し張り替えを行ったことで、清潔で明るい空間を整備することができた。	整備された環境を維持・向上させながら、落ち着いて過ごせる空間づくりに努め、より質の高い療育の提供につなげていく。
2	特定の曜日にプログラムを固定せず、どの曜日に利用しても新鮮さを感じられるよう工夫しており、利用児が飽きずに参加できる環境を整えている。	前月と当月で同じ曜日のプログラム内容が重ならないよう調整し、利用希望が集中しないよう配慮している。また、いつ利用しても楽しめるよう、多様なプログラムの作成を行っている。	新たなプログラムの導入を進めるとともに、外部からの意見や助言も取り入れながら、より幅広く充実した療育プログラムの構築に努めていく。
3	同一法人内の他事業所と日常的に関わりを持ち、連携を図ることができている。	合同イベント等を実施することで、他事業所の職員からの視点を得たり、異なる利用者の支援の様子を共有したりする機会を設け、新たな気づきを得ている。	研修等を通じて他事業所を訪問する機会を確保するとともに、合同イベントの実施回数を増やし、職員間の交流と学びの機会を拡充していく。複数の視点を取り入れることで、新たな支援の可能性の発見につなげていく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	父母の会の活動支援や保護者会の開催、また保護者同士やきょうだい同士が交流できる機会の提供について、十分に行えていない。	保護者参加型のイベントは実施しているものの、保護者会等の定期的な開催には至っていない。	近年、保護者会については賛否が分かれる傾向もあることから、自由参加型のイベント等を今後増やしていくことで、保護者同士が自然に交流できる場を提供していきたいと考えている。
2	地域の児童発達支援センター等と十分な連携を図り、必要に応じたスーパーバイズや助言を受ける機会を設けられていない。	事業所内や法人内で支援が完結してしまうことが多い傾向がある。	今後は、支援センター等が主催する研修会や集まりに積極的に参加し、外部機関とのつながりを深めることで、連携を取りやすい体制づくりを進めていく。
3	関係機関との連携が十分とは言えない状況にある。	必要に応じて、利用者に関わる関係機関（他に通所している事業所、学校、相談支援事業所等）との連携は図っているものの、それ以外の機関との継続的な関わりが少ない。	今後は、外部機関の職員等を招いたイベントや交流の機会を企画・実施することで、関係機関とのつながりを広げ、連携の強化を図っていく。

保護者等向け 放課後等デイサービス評価表

公表日： 2026年02月25日

事業所名：放課後等デイサービス ゆめの園みらいず本郷 児童発達支援・放課後等デイサービス 対象人数（保護者）34人 回答者数 21人 回収率 61.8%

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制整備	①	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	14	4	2	1		
	②	職員の配置数は適切であると思いますか。	15	3		3		
	③	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	18	2		1		
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	17	1	2	1		「赤い羽根」の助成金により床の張替えを行いました。それにとともに療育室の環境整備を行っております。
適切な 支援の 提供	⑤	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	20	1				
	⑥	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	20	1				
	⑦	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	21					
	⑧	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	21					
	⑨	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	21					
	⑩	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	19	2				

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
	⑪ 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会がありますか。	12	3	2	4	必要性は感じていないのでも問題ありません。	ご配慮いただきありがとうございます。同法人ないの別事業所の方々と関わる機会がございます。
保護者への説明等	⑫ 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	20	1				
	⑬ 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	20	1				
	⑭ 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	9	4	2	6		
	⑮ 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	20	1				
	⑯ 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	20	1				
	⑰ 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	19	1		1		
	⑱ 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	5	4	4	8	特に必要はないと思っております。	
	⑲ 子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	18	2		1		
	⑳ 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	20	1				
	㉑ 定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	20				1	

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
	㉔ 個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	19	1		1		
非常時等の 対応	㉕ 事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	18	1		2		
	㉖ 事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	17			4		
	㉗ 事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	20				1	
	㉘ 事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	18		2		1	まだ事故がないための回答。 事故があれば説明してくださいと思います。 迅速かつ丁寧にご連絡をいただいております。
満足度	㉙ こどもは安心感をもって通所していますか。	19		1	1		
	㉚ こどもは通所を楽しみにしていますか。	19	1		1		
	㉛ 事業所の支援に満足していますか。	20	1			子どもだけでなく親の声にも耳を傾け寄り添っていただき、日々感謝の気持ちでいっぱいです。 予定表を見て活動の内容を伝えると『みらいず行く！』と言って通所を楽しみにして通っています。 今後どうぞよろしく願いいたします。	ありがとうございます。今以上の支援を行っていただけるように努めてまいります。

公表

事業所における自己評価結果・放課後等デイサービス

事業所名		ゆめの園みらいず本郷児童発達支援・放課後等デイサービス				公表日	2026/2/25
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6				
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	6				
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5	1			
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5	1			
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5	1		静養室で気持ちを落ち着かせたい際、着替えや職員休憩中だと難しい。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	6				
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6				
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6				
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	3	3			
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内で研修を開催する機会が確保されているか。	6				
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6				
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	6				
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6				
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6				
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5	1			
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6				
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5	1		プログラム作成係りに委ねられている面がある。	

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6			
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	6			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6			
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6			
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6			
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6			
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	6			
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	6			
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6			
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6			
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	6			
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	4	2		
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	3	2	相談員へ伝達 求められれば行える	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	2	4		
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	2	4		
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	2	3		参加しているか分かりません。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5	1		
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	2	4		
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6			
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6			
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	6			

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6			
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	3	3		
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6			
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	6			
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6			
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6			
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	4	2		
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6			
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6			
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	6			
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5	1	ご家族様からの共有にてそのように対応している。除去食対応。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6			
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6			
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6			
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6			
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	6				

公表

事業所における自己評価総括表・児童発達支援

○事業所名	ゆめの園みらいず本郷児童発達支援・放課後等デイサービス		
○保護者評価実施期間	2025年12月1日		2025年12月31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	2 (回答者数)	2
○従業者評価実施期間	2026年1月10日		2026年1月20日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6 (回答者数)	6
○事業者向け自己評価表作成日	2026年1月31日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	生活空間は清潔に保たれており、利用児が心地よく、安心して過ごすことができる環境となっている。また、子どもたちの活動内容や特性に配慮した空間づくりを行っている。	汚れが目立っていた床のカーペット部分について、「赤い羽根共同募金」の助成金を活用し張り替えを行ったことで、清潔で明るい空間を整備することができた。	整備された環境を維持・向上させながら、落ち着いて過ごせる空間づくりに努め、より質の高い療育の提供につなげていく。
2	特定の曜日にプログラムを固定せず、どの曜日に利用しても新鮮さを感じられるよう工夫しており、利用児が飽きずに参加できる環境を整えている。	前月と当月で同じ曜日のプログラム内容が重ならないよう調整し、利用希望が集中しないよう配慮している。また、いつ利用しても楽しめるよう、多様なプログラムの作成を行っている。	新たなプログラムの導入を進めるとともに、外部からの意見や助言も取り入れながら、より幅広く充実した療育プログラムの構築に努めていく。
3	同一法人内の他事業所と日常的に関わりを持ち、連携を図ることができている。	合同イベント等を実施することで、他事業所の職員からの視点を得たり、異なる利用者の支援の様子を共有したりする機会を設け、新たな気づきを得ている。	研修等を通じて他事業所を訪問する機会を確保するとともに、合同イベントの実施回数を増やし、職員間の交流と学びの機会を拡充していく。複数の視点を取り入れることで、新たな支援の可能性の発見につなげていく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	父母の会の活動支援や保護者会の開催、また保護者同士やきょうだい同士が交流できる機会の提供について、十分に行えていない。	保護者参加型のイベントは実施しているものの、保護者会等の定期的な開催には至っていない。	近年、保護者会については賛否が分かれる傾向もあることから、自由参加型のイベント等を今後増やしていくことで、保護者同士が自然に交流できる場を提供していきたいと考えている。
2	地域の児童発達支援センター等と十分な連携を図り、必要に応じたスーパーバイズや助言を受ける機会を設けられていない。	事業所内や法人内で支援が完結してしまうことが多い傾向がある。	今後は、支援センター等が主催する研修会や集まりに積極的に参加し、外部機関とのつながりを深めることで、連携を取りやすい体制づくりを進めていく。
3	児童発達支援の利用者数が少ない状況にある。	放課後等デイサービスと合わせた定員設定としているため、児童発達支援の受け入れ枠が限られている。	土日枠において事業所を卒業する利用者が出た際には、その枠を活用し、児童発達支援の利用者を積極的に受け入れるなど、柔軟な対応を検討していく。

保護者等向け 児童発達支援評価表

公表日： 2026年02月25日

事業所名：児童発達支援 ゆめの園みらいず本郷 児童発達支援・放課後等デイサービス

対象人数（保護者）3人 回答者数 2人 回収 66.7%

チェック項目		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制整備	① こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	2					
	② 職員の配置数は適切であると思いますか。	2					
	③ 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	2					
	④ 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	1	1				「赤い羽根」の助成金により床の張替えを行いました。それにとともに療育室の環境整備を行っております。
適切な 支援の 提供	⑤ こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	2					
	⑥ 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	2					
	⑦ こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	2					
	⑧ 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	2					
	⑨ 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	2					
	⑩ 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	2					
	⑪ 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他の	1	1				同法人内ではありますが別事業所と年1回以上関わっております。

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
	こどもと活動する機会がありますか。						
	⑫ 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	2					
	⑬ 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	2					
	⑭ 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	1	1				今後何かしらの提供が できないか考えてまいります。
	⑮ 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思えますか。	2					
	⑯ 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	1	1				
	⑰ 事業所の職員から共感的に支援をされていると思えますか。	2					
保護者への説明等	⑱ 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	1	1				
	⑲ こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	1	1				
	⑳ こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思えますか。	2					
	㉑ 定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	2					
	㉒ 個人情報の取扱いに十分に留意されていると思えますか。	2					

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
非常時等の対応	㉔ 事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	1	1				
	㉕ 事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	2					
	㉖ 事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	1	1				
	㉗ 事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	1	1				
満足度	㉘ 子どもは安心感をもって通所していますか。	2					
	㉙ 子どもは通所を楽しみにしていますか。	2					
	㉚ 事業所の支援に満足していますか。	2					

公表	事業所における自己評価結果（児童発達支援）
----	-----------------------

	事業所名					
	ゆめの園みらいず本郷児童発達支援・放課後等デイサービス				公表日 2026/2/25	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6			
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	6			
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5	1		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6			
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5	1		
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	6			
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6			
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	3	3		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6			
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	6			
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6			
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5	1		
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6			プログラム作成係にゆだねられている面がある。

供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6			
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	6			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6			
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6			
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6			
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6			
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6			
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6			
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	4	2		
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	4	2		
	28	(28～30は、センターのみ回答)				
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答)				
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	2	4		
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	1	5		
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6			
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	4	2			
35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6				
36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6				

保護者への説明等	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	6			
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6			
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	3	3		
	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6			
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	6			
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6			
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6			
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	3	3		
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6			
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6			
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	6			
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5	1		
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6			
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6			
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6			
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6			
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	6				